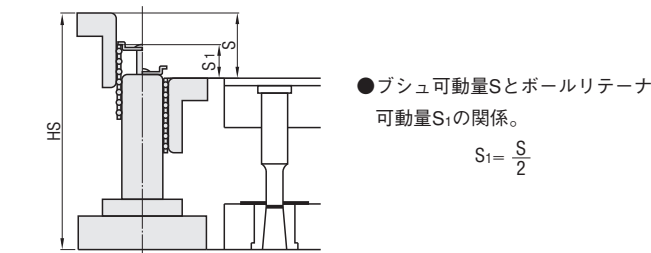


可動式ストップタイプ(MYA(H)・MYAP(H)・MYJ(H)・MYJP(H))の有効可動範囲

〔データ〕 MYA(H)・MYAP(H)・MYJ(H)・MYJP(H)の下死点の高さとポスト長の関係

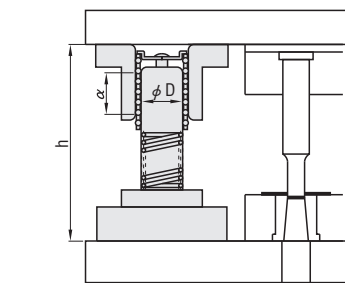
■ボールガイドの選定基準

- 1. プレスの下死点において、ポスト・ブシュおよびボールリテーナの接触長 α を $\alpha \geq D$ にします。
($\alpha < D$ では金型の寿命が短くなる可能性があります。図A)
- 2. プレスの下死点において、ガイドポスト長と取り付け高さ h が右表の青色の範囲内にあるようにしてください。
- 3. h はなるべく接触長の長い図Cになるようにポスト長を選択します。

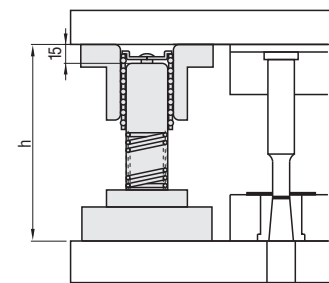


HS：ボールリテーナが可動を始める位置
下死点時の理想的な位置（接触長が長い）

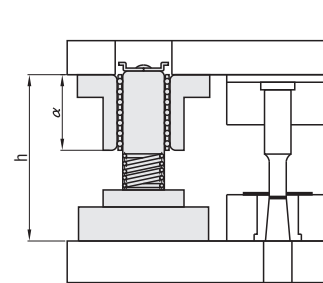
図A ポスト・ブシュの機能として最低必要な接触限界上位。 $\alpha \geq D$
(HSからDmm下がった位置)



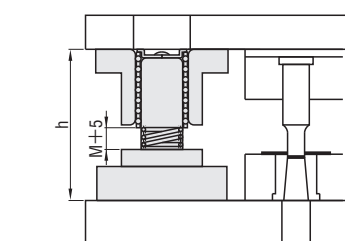
図B パンチホルダに逃げ穴がない場合の限界位置。ストップの厚み5mmの他に再研磨代と安全度を含めて10mm見込んであります。



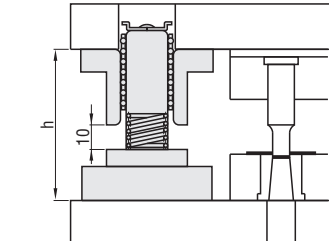
図C ポスト・ブシュおよびボールリテーナの最大接触長位置。(推奨使用高さ)



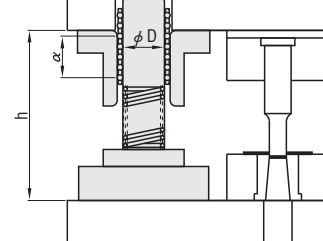
図D ボールリテーナの可動限界下位。
M=スプリングの密着高さ
5mm=再研磨代+安全度
(ポスト長が短い場合になります。)



図E ブシュの可動限界下位。
10mm=再研磨代+安全度



図F ポスト・ブシュの機能として最低必要な接触限界下位。 $\alpha \geq D$
(ポスト長が長い場合になります。)



■MYA(H)・MYAP(H)・MYJ(H)・MYJP(H) 有効可動範囲 (左図 A B C D E F 条件による可動範囲)

型の高さh		60	80	100	120	140	160	180	200	220
ポストサイズ	20			D	B	A				
				E	C	B	A			
				E	C	B	A			
				E	C	B	A			
				E	C	B	A			
				E	C	B	A			
				F		C	B	A		

A・B・C・D・E・Fは左ページの図A・B・C・D・E・Fの場合となります。

型の高さh		80	100	120	140	160	180	200	220	240
ポストサイズ	25		D	B	A					
			E	C	B	A				
			E	C	B	A				
			E	C	B	A				
			E	C	B	A				
			E	C	B	A				
			F		C	B	A			
			F		C	B	A			
			F		C	B	A			
			F		C	B	A			
			F		C	B	A			

A・B・C・D・E・Fは左ページの図A・B・C・D・E・Fの場合となります。

型の高さh		100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300
ポストサイズ	32		D	B	A							
			E	C	B	A						
			E	C	B	A						
			E	C	B	A						
			E	C	B	A						
			E	C	B	A						
			F		C	B	A					
			F		C	B	A					
			F		C	B	A					
			F		C	B	A					
			F		C	B	A					

A・B・C・D・E・Fは左ページの図A・B・C・D・E・Fの場合となります。

型の高さh		120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340
ポストサイズ	38		D	B	A								
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						

A・B・C・D・E・Fは左ページの図A・B・C・D・E・Fの場合となります。

型の高さh		160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380
ポストサイズ	50		D	B	A								
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			E	C	B	A							
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						
			F		C	B	A						

A・B・C・D・E・Fは左ページの図A・B・C・D・E・Fの場合となります。

- ① この表の値はボールリテーナのボールピッチ等により変動しますので、目安としてご使用ください。
- ② 詳細の計算方法は弊社HPに掲載されています。ご参照ください。